

# がん・生殖医療連携会議

## /Oncofertility Consortium JAPAN 2016 Meeting準備会議

平成28年度厚生労働科学研究補助金（がん対策推進総合研究事業）  
総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究

H27-がん対策-一般-005

班長：国立名古屋医療センター臨床研究センター長 堀部敬三先生

### 「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」の運営状況

脇本裕<sup>1,2</sup>, 長谷川昭子<sup>1,2</sup>, 松本豊美<sup>1,2</sup>, 柴原浩章<sup>1,2</sup>, 岡本恵理<sup>3</sup>, 塩谷雅英<sup>3</sup>,  
山口 聡<sup>4</sup>, 吉岡信也<sup>5</sup>, 伊藤公彦<sup>6</sup>, 蝦名康彦<sup>7</sup>, 大橋正伸<sup>8</sup>

兵庫医科大学 産科婦人科学講座<sup>1</sup>, 兵庫医科大学病院 生殖医療センター<sup>2</sup>, 英ウイメンズクリニック<sup>3</sup>,  
兵庫県立がんセンター婦人科<sup>4</sup>, 神戸市立医療センター中央市民病院産婦人科<sup>5</sup>,  
関西ろうさい病院産婦人科<sup>6</sup>, 神戸大学産科婦人科<sup>7</sup>, なでしこレディースホスピタル<sup>8</sup>



#### 生殖小班

聖マリアンナ医科大学医学部  
岐阜大学大学院医学系研究科  
岡山大学大学院保健学研究科  
長崎大学医学部付属病院  
滋賀医科大学医学部  
埼玉医科大学総合医療センター  
岐阜大学大学院医学系研究科

- ・産婦人科学
- ・産科婦人科学分野
- ・生殖医学
- ・産婦人科、生殖内分泌学
- ・産婦人科学
- ・産婦人科学
- ・産科婦人科学分野

鈴木 直  
古井 辰郎  
中塚 幹也  
北島 道夫  
木村 文則  
高井 泰  
森重健一郎

# 兵庫県がん・生殖医療ネットワーク設立経緯

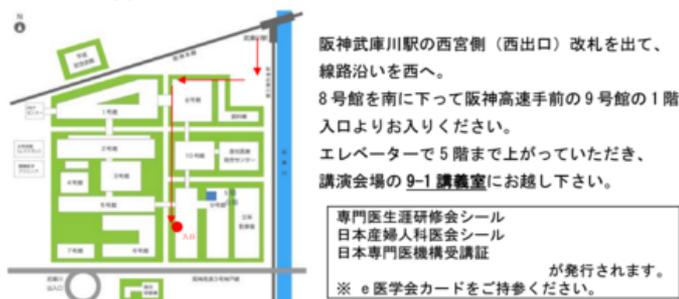
1. 2015.6.7: 兵庫県産科婦人科学会で『当センターにおける医学的適応による卵子・胚および卵巣凍結の現況』について発表・ネットワークの必要性を提言。後日、兵庫県産科婦人科学会理事会でネットワーク設立案の提案・承認。
2. 兵庫県内のART 31施設に「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」へ参加有無のアンケート調査を実施。このうち参加希望があり、医学的適応妊孕性温存について日本産科婦人科学会の所定の手続き済みの3施設が参加施設となる。
3. 2015.8.12: 兵庫県内にある45がん診療施設の協力を要請するために、兵庫県産科婦人科学会会長とネットワーク代表世話人から兵庫県がん診療連携協議会で「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」の設立を申し入れた。

# 兵庫県がん・生殖医療ネットワーク設立

## 兵庫県がん・生殖医療ネットワーク

### 第1回講演会 開催のお知らせ

日 時：平成28年1月7日（木） 18:30~19:35  
場 所：兵庫医科大学西宮キャンパス（西宮市武庫川町1-1）  
9号館5階 9-1 講義室  
[連絡先]兵庫医科大学産科婦人科学講座医局 TEL 0798-45-6481  
参加費：2000円



18:30~18:35

開会挨拶：「兵庫県がん・生殖医療ネットワークの設立について」  
兵庫医科大学 産科婦人科学 主任教授 柴原浩章

18:35~19:35

特別講演：「若年がん患者に対する妊孕性温存の診療  
～がん・生殖医療連携ネットワークの必要性～」

座長：兵庫医科大学 産科婦人科学 主任教授 柴原浩章  
演者：聖マリアンナ医科大学 産科婦人科学 教授 鈴木 直先生

19:35~19:40

閉会挨拶：兵庫医科大学病院 病院長 難波光義

症例数に関わらず、興味をお持ちの先生の多くの参加をお待ちしております。  
当日は、ご参加頂いた確認のため、ご施設名、ご方名のご記載をお願い申し上げます。なお、ご記載頂いたご施設名、ご方名は医薬品および医学・薬学に関する情報提供のために利用させて頂くことがございます。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 兵庫県産科婦人科学会と 兵庫県がん診療連携協議会 とが共同して設立

## 平成28年1月7日

- ・キックオフミーティング
- ・第1回世話人会

# 兵庫県がん・生殖医療ネットワーク運用

平成28年3月1日～  
・地域連携開始

①

兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書

平成 年 月 日

兵庫医科大学病院

医療機関:

地域医療・総合相談センター

診療科・主治医:

産婦人科医局

宛

電話番号:

FAX番号:

所在地:

相談希望者について

フリガナ 患者氏名		相談希望日時 第1 月 日 午前・午後 第2 月 日 午前・午後 第3 月 日 午前・午後 ※担当医の指名はできません
生年月日	昭・平 年 月 日 ( 歳 )	
住 所	〒 TEL	
・結婚歴・妊娠出産歴 <input type="checkbox"/> 未婚 <input type="checkbox"/> 既婚 妊娠 ( ) 回・出産 ( ) 回		
・現病歴 ( )		
・今後の治療予定 (手術・化学療法の種類・放射線治療の有無など) <input type="checkbox"/> 未定 ( ) <input type="checkbox"/> 予定 ( )		
・がん治療開始までの時間的余裕 (未申込後、いつまでにかん治療を開始するのが望ましいか) <input type="checkbox"/> 約1週間以内 <input type="checkbox"/> 約2週間以内 <input type="checkbox"/> 約1ヶ月以内 <input type="checkbox"/> 約2ヶ月以内 <input type="checkbox"/> その他 ( )		

※初回相談料金は、1回10,000円(税別)をお支払いいただきます。その他、当日に検査等をする場合は別途加算された金額になります。

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター

FAX宛先: 0798-45-6002 TEL: 0798-45-6001

- ① 『兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書』
- ② 『兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談室への紹介要領』
- ③ 『兵庫医科大学病院で「妊孕性温存」相談を御希望の患者さんへのご案内』  
を兵庫県内にある45施設がん診療施設に送付し、実際の運用を開始した。

# 紹介要領・患者向けの案内など

②

## 兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談室への紹介要領

### 【はじめに】

手術・化学療法・放射線治療等の進歩により、若年がん女性の社会復帰の可能性は高まりましたが、副作用により妊孕性を喪失することがあります。近年、生殖医療の進歩に伴い卵子・胚・卵巣組織を凍結保存することで、このような女性の妊孕性を温存することが可能となりました。一方で妊孕性温存のためにがん治療が遅れ、予後の悪化が懸念されることも事実です。そこで生殖医療と各科のがん治療医が緊密に連携できるよう、2016年1月に「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」を設立いたしました。このネットワークへのご紹介の際には、別紙【兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書】を御利用ください。

### 【対象患者】

1. 若年のがん女性が主たる対象となります。真性疾患でも化学療法を必要とする患者さんおよび免疫疾患患者や付属臓器・付属臓器の患者等も対象。
  2. 手術、化学療法、放射線療法、ホルモン療法など卵巣毒性や卵巣機能抑制作用のある治療を予定している患者。
  3. 患者およびご家族（未成年者の場合）に産児希望、妊孕性の温存の希望があり、兵庫医科大学病院で「妊孕性温存」相談を希望していること。
  4. 妊娠可能年齢の女性（閉経前）、および性成熟前の女性であること。
  5. 妊孕性温存処置に原疾患の主治医の許可（予後時間的）が得られていること。
- ※ご紹介を頂いた患者様につきましては、妊孕性温存の適応がある方と見て対応させていただきます。

### 【妊孕性温存処置の特徴】

妊孕性温存処置の方法を表1に示す。

- ・現在広く行われている技術としては受精卵凍結や卵子凍結です。これらの方法は約1ヶ月～約2ヶ月の排卵誘発が必要で、月経のない小児がん患者は対象外です。
- ・卵巣凍結保存は月経のない小児がん患者にも適応があります。排卵誘発が不要で約1週間程度でがん治療開始が望めます。排卵誘発の時間的余裕のない患者の適応として注目されています。
- ・凍結した卵巣に微小病変が存在することがあります。この場合、卵巣移植により再発の危険性が指摘されていますので、より安全に卵巣から未成熟卵子を回収し、体外培養後、体外受精を行う方法があります。

③

## 兵庫医科大学病院で「妊孕性温存」相談を御希望の患者さんへのご案内

### ～「妊孕性温存」相談室の受付にあたって～

### 【はじめに】

手術・化学療法・放射線治療等の進歩により、若年がん女性の社会復帰の可能性は高まりましたが、副作用により妊孕性（妊娠のしやすさ）を喪失することがあります。近年、生殖医療の進歩に伴い卵子・胚・卵巣組織を凍結保存することで、このような女性の妊孕性を温存することが可能となりました。一方で妊孕性温存のためにがん治療が遅れ、予後の悪化が懸念されることも事実です。そこで生殖医療と各科のがん治療医が緊密に連携できるよう、2016年1月に「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」を設立いたしました。

このネットワークを通じて兵庫医科大学病院がんセンター内のがん診療支援室で、医師らによる妊孕性温存カウンセリングを予約制で実施しています。月～金の11:00～11:30と、月・火・木・金の14:00～14:30です。このネットワークを利用するにあたり、かかりつけの先生に【兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書】に必要事項を記入のうえ、地域医療・総合相談センター宛にファクス（FAX: 0798-45-6002）でもらってください。

※相談料金は自費診療で10,000円（税別）をお支払いいただきます。その他、当日に検査等をされる場合は別途加算された金額（自費）になります。

### 【持参いただくもの】

「妊孕性温存」相談にお越しの際は、以下のものをご持参ください。

- ①かかりつけ医からの「紹介状」
- ②兵庫医科大学病院の「予約受付票」
- ③健康保険証（ただし自費診療ですので、健康保険の適応ではありません。）
- ④当院の診察券（お持ちの方のみ）

※受付当日は予約時間の15～20分前に1号館1階総合案内にお越し下さい。  
※当日遅刻しそうな場合は下記地域医療・総合相談センターまでお電話ください。  
・診察開始が予約時間から多少遅れることもありますのでご了承ください。

### 【紹介に関わるお問い合わせ先】

T 663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター  
電話番号：0798-45-6035 FAX番号：0798-45-6002

【表1】

	胚（受精卵）凍結	卵子（未受精卵）凍結	卵巣凍結
利点	妊娠率が比較的高い	未増にも適応 （種子は不要）	・思春期以前にも適応 ・排卵誘発が不要 ・早期にがん治療可能
欠点	排卵誘発が必要 （がん治療の遅延） 種子が必要	排卵誘発が必要 （がん治療の遅延）	・手術（基本：腹腔鏡）が必要 ・移植の際に腫瘍細胞が流入するリスクがある

### 【紹介の手順】

1. 「妊孕性温存」相談の実施にあたり、兵庫医科大学病院のがん診療支援室でカウンセリングを行いますので、受診には必ず予約をお願いします。
  2. 【兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書】を当地域医療・総合相談センター宛にファクス（FAX: 0798-45-6002）にてお送り下さい。
  3. 当日中に来院日時のお知らせ（予約受付票）をFAXにて返信いたします。但し、紹介FAX受付時間は月～金の8:30～16:30です。受付時間外にご返信いただいた場合のご予約等のお返事は、翌営業日の受付時間内になりますのでご了承ください。予約枠は午前枠は月～金の11:00～の1枠、午後枠は月・火・木・金の14:00～の1枠になります。申込書に相談希望日時を記載して下さい。
  4. 患者さんの状況が複雑な場合や記載内容がファクスので返信に達しないような場合は、あらかじめ下記担当医師へ直接お電話でご相談ください。
  5. 患者さんにお渡しいただくもの
    - ・兵庫医科大学病院からの（予約受付票）（受診日時を記載したもの）
    - ・紹介状（貴院で使用されているもの）
    - ・別紙【兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談を御希望の患者さんへのご案内】
- 【「妊孕性温存」相談後】
1. 妊孕性温存処置の希望があれば兵庫医科大学病院に随時のうえ妊孕性温存処置を行います。尚、「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」参加施設での妊孕性温存処置を希望される場合は紹介状を作成します。
  2. 妊孕性温存処置施行後、原疾患の治療を開始します。但し、原疾患の治療を開始しながら妊孕性温存処置を施行する場合があります。
  3. 原疾患の治療が終了し、患者からの異議と原疾患の主治医から妊娠の許可が得られた場合には、妊孕性温存処置を施行した施設で凍結した受精卵・卵子・卵巣組織を融解し妊娠に向けて移植の準備を行います。
- 【紹介に関わるお問い合わせ先】
- T 663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
兵庫医科大学病院 産婦人科医師（担当医：柴原治康、藤本裕）  
電話番号：0798-45-6481 FAX番号：0798-46-4163

# 兵庫県がん・生殖医療ネットワーク

## がん患者さんの妊孕能温存のための流れ

がん診療施設  
(がん患者)

→ すみやかにがん治療を開始

妊孕能温存に関する情報提供の依頼

窓口：当科(がん生殖外来)

→ 妊孕能温存カウンセリング

紹介先：生殖医療施設  
(当科含む3施設)

→ 妊孕能温存処置を施行

# 「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」 生殖医療側受け入れ施設一覧

(平成28年7月現在)

不妊治療施設 (所在地)	受精卵凍結	卵子凍結	卵巣凍結
英ウイメンズC (神戸市)	○	○	○*
徐レディースC (西宮市)	○	○	X
兵庫医科大学 (西宮市)	○	○	○**

\* : 卵巣採取術は他院

\*\* : 他院での卵巣採取時に、胚培養士の派遣による受け取りも可能。

## 【がん生殖外来：兵庫医科大学のみ実施】

	月	火	水	木	金	土
11:00～	○	○	○	○	○	×
14:00～	○	○	×	○	○	×



# ネットワークの運営体制(1)

紹介先の主な施設	複数 ①兵庫医科大学産婦人科 ②英ウイメンズC(神戸市) ③徐レディースC(西宮市)
紹介方法	①は病診連携(FAX) ②、③は従来通り、紹介状など
がん診療施設からの 統一された情報提供書式	あり ①の場合のみ
県外からの紹介	まれ
妊孕性温存実施施設	上記3施設
ネットワーク運用資金	県からの補助あり
ネットワークHome Page ・開設資金	なし

## ネットワークの運営体制(2)

妊孕性温存に関する 情報提供内容	独自資料なし
症例の情報	各施設で管理
施設間の交流方法 (患者紹介以外)	定期的な研究会の開催(年1回予定) メーリングリスト
行政の関与	なし
ネットワークの特徴	基幹病院中心に運営
ネットワークの課題	①地域性:生殖医療側受け入れ施設は 阪神間のみである。県北部・西部・淡路 島など交通面で負担  ②費用:自費診療で公的補助がない